明日の京都
文化遺産プラットフォーム

ラ　コリーナ近江八幡　設計:藤森 照信

無形文化遺産シンポジウム

日本人の棲(す)まい方

～伝統構法と匠の技～

第1部

筑前琵琶

平家物語より「都落ち」
田中 旭泉　田中 旭粋
（筑前琵琶　橘流　日本橘会）

講演

「林に棲(す)む～鴨長明と尾崎放哉～」
山折 哲雄（宗教学者）

第2部

シンポジウム「日本人の棲(す)まい方～伝統構法と匠の技～」

基調講演 …… 藤森 照信（建築史家、建築家、東京大学名誉教授）

パネルトーク …… 藤森 照信
木村 忠紀（京都府建築工業協同組合理事長）
山本 勝己（京都府左官業組合連合会相談役）

コーディネーター 土岐 憲三（立命館大学教授、明日の京都 副会長）

司 会 猪崎 由華（NHK京都放送局キャスター）

全て敬称略

平成30年3月11日(日)
13:30~16:40(開場/13:00)

申込みフォーム

会場 立命館大学 朱雀キャンパスホール(定員450名)

入場無料・事前申込制・応募者多数の場合は抽選
※参加証をお持ちの方のみ、ご入場が可能です。

主 催 明日の京都 文化遺産プラットフォーム　　後 援 京都府、京都市、宇治市、古典の日推進委員会

明日の京都
文化遺産プラットフォーム

無形文化遺産シンポジウム

日本人の棲まい方～伝統構法と匠の技～

日本の原風景であった伝統的な建築や町並みは、高温多湿の日本の風土の中で、木や土など自然素材の性質を見抜いた職人たちの伝統的な匠の技が築き上げてきたものです。しかし今、日本のどの町もどの村も、同じような合板とアルミサッシの家並にとって代わられています。平安末期の動乱の時代、鴨長明は栄華を極めた大邸宅から、遂には、方丈（3m四方・4畳半）という究極の住居に辿り着きました。当シンポジウムでは、『方丈記』から出発し、日本人の棲まい方の思想と、独自の生活文化（茶・花・香など）を発達させた世界に例のない日本建築の今後の在り方を考えます。

登壇者紹介（すべて敬称略）

筑前琵琶

田中 旭泉
筑前琵琶
橘流　日本橘会

田中 旭粋
筑前琵琶
橘流　日本橘会

講　演

山折 哲雄
宗教学者

基調講演

藤森 照信
建築史家、建築家、
東京大学名誉教授

パネリスト

木村 忠紀
京都府建築工業
協同組合理事長

山本 勝己
京都府左官業組合
連合会相談役

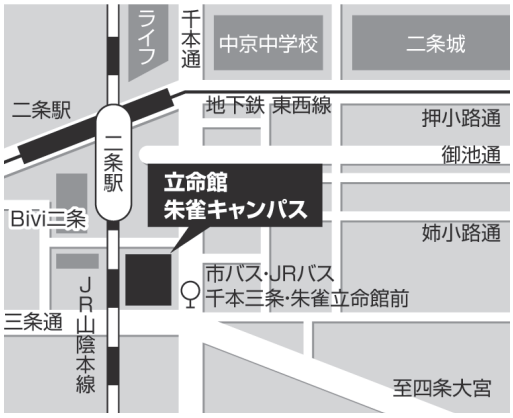
コーディネーター

土岐 憲三
立命館大学教授、
明日の京都副会長

司　会

猪崎 由華
NHK京都放送局
キャスター

会場アクセス



立命館大学　朱雀キャンパス

- ●JR・地下鉄東西線二条駅、下車すぐ
- ●京都市バス・JRバス「千本三条・朱雀立命館前」下車
- ●阪急電車大宮駅、徒歩約10分

※駐車場、駐輪場がありませんので、
自動車・バイク・自転車での来場はできません。
公共交通機関を利用して、ご来場ください。

入場料　無料（自由席）

募集定員　450名　※応募者多数の場合は抽選

申込締切　2018年2月27日（火）必着

申込方法

HPの申込みフォーム、またはFAXでお申込みください。
当選者の発表は参加証(ハガキ)の発送をもって代えさせて頂きます。
（落選された方へのご連絡はしておりませんので、ご了承ください。）
複数名でお申込みの方は、代表者の方への参加証発送となります。
参加証は3月1日（木）頃発送予定です。

●参加証をお持ちの方のみ、ご入場が可能です。

HPから簡単にお申込みができます　HP　http://tomorrows-kyoto.jp　明日の京都文化　検索

《申込みフォーム》

参加お申込み

FAX申込用紙　FAX 075-813-8167　2018年2月27日（火）必着

フリガナ 代表者名	参加者氏名（代表者以外）※参加証は代表者の方へお送りします フリガナ ○氏名
ご住所　〒	フリガナ ○氏名
TEL／携帯 FAX	代表者含む 参加人数　計　　名

※応募時にご記入を頂いた個人情報は、本シンポジウムに関するご連絡、主催する団体の事業のご案内や各種連絡の目的にのみ使用いたします。